

税金の使い道は？
八尾市の課題って何なの？
市のサービス何が変わるの？

議員の Q & A 市の

2日間 11人の 個人質問

日本共産党
越智 妙子
奨学金の返済
補助金等の支援を




Q 物価高騰が暮らしを襲い子どもたちを苦しめている。大学に通う2人に1人が奨学金を利用し、その額は4年間で1人当たり平均300万円にも達している。その返済が結婚や子育てなど若者の生活設計の重荷になっている。誰もが大学等に安心して通えるよう、奨学金返済に本市が補助金を出すなどの支援が必要ではないか。

A 本市独自の補助制度を設けることは新たな財源が必要なことから困難である。大学等の奨学金制度の拡充については、引き続き国や府に要望していく。

Q 子どもたちが安心して医療を受けられるように、18歳までのことも医療費の窓口の支払い額をゼロにするべきではないか。

A 無料化を行うには必要となる財源の安定的な確保のほか、府内の医療機関との調整など様々な課題があり慎重に検討する必要がある。

日本共産党
田中 裕子
ジェンダーの視点で
女性の尊厳の保障を




Q 八尾市史において、第二次世界大戦後、当時の大正飛行場に米軍が駐留したことによる売春や性暴力があった実態について、ジェンダーの視点で記録し、女性支援法に生かすべきではないか。

A 性売買・性暴力の問題についてはジェンダーの視点でとらえる必要があり、様々な文献等を確認しながら、指摘された内容も含め新たな発見等がある場合、今後の市史編さんに反映していく。

米軍の進駐・駐留の年表（田中裕子議員調べ）

年	月	変遷
昭和20年(1945年)	8月	大正飛行場に米軍が進駐し、阪神飛行場と称する。
昭和27年(1952年)	4月	阪神飛行場の一部が民間使用許可になる。兵舎跡の大半が大府に払い下げされる。
	6月	阪神飛行場の米軍が朝鮮戦争に進出する。
昭和28年(1953年)	8月	米軍が再駐留する。
昭和29年(1954年)	5月	阪神飛行場の米軍が移駐する。
	8月	阪神飛行場が日本に全面返還される。

八尾保守の会
松田 憲幸
大規模災害に備えて
地域の防災力向上を




Q 災害発生時に共助の基礎となる町会において、加入者の高齢化や加入率の低下が見られるが、共助を強化するために市としてどのような対策をするのか。

A 地域活動の基盤となる町会の共助における役割は大きく、より多くの現役世代が参加できるように町会活動の内容や運営方法を見直していくことが重要と考えている。

Q 深刻化する若年世代のひきこもり対策について、市の取り組み内容とその成果は。

A 臨床心理士等の対面による相談窓口の設置により、相談件数が大幅に増加し、関係機関との連携による支援も充実してきている。

その他の質問項目

- 災害時の職員体制について
- 市内介護事業者との連携について
- 庁舎内での特定政党機関紙の集金・勧誘の是正について

大阪維新の会
坂本 尚之
給食費の無償化
継続のための予算は




Q 給食費の無償化は本来国において対応すべきだが、現時点では対応していない。小・中学校の無償化を継続するためにどの程度の予算が必要なのか。また、中期財政見通しはどうか。

A 小学校で約6億5千万円、中学校で約3億5千万円、合計で年間約10億円が必要と見込んでいる。単年度で17億円程度財源が不足する見通しとなっており、それを埋めるために財政調整基金等を充てていくが、基金残高が約60億円を指す計画を立てている。

無所属
露原 行隆
警報時の登下校
子どもの安全確保は




Q 気象警報発表時における児童・生徒の登下校の対応については、細心の注意を払うべきだと考えるがどうか。

A 児童・生徒の安全確保を最優先に、より良い安全対策の視点で関係課と協議を行い、方針の見直しを図っている。

Q 安全な登下校について、具体的にどのような方針の見直しを図るのか。

A 授業中に警報が発表された場合、防災情報における気象の推移や、大和川の氾濫警戒情報、土砂災害警戒区域での避難情報警戒レベルを確認し、下校や待機の判断をするといった見直しを検討している。

大阪維新の会
景山 和香
産前産後のサポート
周知の強化を




Q 妊娠出産における母体への負担の軽減を図るため、産後ケア事業は非常に有効である。しかし、事業の周知が不足していると感じるがどうか。

A ホームページや子育て応援ブック等に加えて、様々なチャンネルを活用した面談においても周知を図っている。利用率は国とほぼ同じであり、現在は必要な方には行き渡っていると考えているが、今後の動向を見ながらキャンペーンを増やすよう努めていく。

Q 産後ケア事業を当事者が利用しやすいような工夫は行っているのか。

A 出産後すぐに利用できるような妊娠9カ月から申請を受け付けるとともに、施設には育児用品を揃えるなど、当事者が少ない荷物で利用できる配慮をしている。

八尾の未来を紡ぐ会
吉村 拓哉
八尾市営住宅の
災害対応について




Q 令和5年7月、西都市営住宅で火災が発生し、住民に大きな混乱が生じた。このような市営住宅における危機事象のマニュアルが必要と考えるがどうか。

A 市営住宅のような大規模団地を対象として、今回の教訓を基にマニュアルを作っていく必要があると考える。

Q 町会加入率が減少しているが、今後、町会活動を維持・継続していくための新たな手法とは、どのようなものか。

A 自治振興委員会との議論も含め考えていき、町会の活性化や加入率を少しずつでも上げていけるようなガイドラインを作っていくたい。

個人質問

QRコードから、各議員の質問の映像を見ることができます。

Q 給食費無償化やほかのマニフェスト項目も含めると概算ではあるが、年間約15億円を超える財源が必要と考えている。

その他の質問項目

- ふるさと納税について
- 近鉄線の連続立体交差化について

Q 市長マニフェストを安定的に実行継続するにはいくらの財源が必要なのか。

A デイサービスへの引き渡しは、非常時も含め、基本的には保護者からの連絡や利用の有無を確認した上で対応している。

Q 産後ケア事業を当事者が利用できるのか。

A 出産後すぐに利用できるような妊娠9カ月から申請を受け付けるとともに、施設には育児用品を揃えるなど、当事者が少ない荷物で利用できる配慮をしている。

その他の質問項目

- 子育て支援の所得制限について
- ママサポート事業について



その他の質問項目

- 八尾市営住宅全体について

八尾河内音頭まつり を盛り上げました

令和5年9月10日(日)第46回八尾河内音頭まつりが開催され、河内音頭グランプリに八尾市議会議員連として出場しました。

今年度の河内音頭グランプリはファミリーロード商店街・城正会商店街を会場として行われ、多くの観客で賑わう中、議員一丸となって踊りを披露し大いに盛り上げました。



リラックスしてスタンバイ。



息の合った踊りを披露。



最後まで笑顔で踊り切りました。

八尾市議会 × 大阪経済法科大学 インターンシップ生 を受け入れました

八尾市議会では大阪経済法科大学と地域連携の覚書を締結しており、同大学の学生をインターンシップ生として受け入れ、約2週間、9月定例会の議会運営や市議会事務局の業務を経験していただきました。

学生や若い世代の市議会・政治への関心を高めるため、連携を生かし、今後も様々な取り組みを進めていきます。

インターンシップ生からの感想

議会運営に関わる仕事を体験させていただき、市役所の仕事の幅広さを実感するとともに、直接ではなくともあらゆる形で市民の方のために働いていることを知り、視野が広がりました。今回の経験を将来に役立てられるように頑張っていきたいです。



インターンシップ生の受け入れは、2013年より継続して実施しています。

▶ QRコードから、各議員の質問の映像を見ることができます。

個人質問



新声
やまなか ひろし
山中 宏
修学旅行での
伊勢神宮参詣は



令和4、5年度と修学旅行での伊勢神宮参詣を行っていないとのことだが、他の神社等への参詣の実績は。

令和4年度に広島方面へ3校が修学旅行に行き、いずれも宮島へ渡り厳島神社へ行っている。

日本の伝統文化をしっかりと見守るため、伊勢神宮参詣の再開に向けた具体的な行動が必要ではないか。

伊勢神宮などの参詣を禁止するような国の通知はないことなどを、校長会等で伝えていくことは可能と考える。

公営住宅の在り方について、少子高齢化が進む中、建て替えなど単にハードの更新・供給だけをするのではなく、多様化するニーズや課題に対応していくべきではないか。

借上公営住宅など、民間活用等を含めて、時代に応じた整備方法を検討していく必要がある。

その他の質問項目
●行財政改革について



日本共産党
たにさわ ちかこ
谷沢 千賀子
お出かけ応援事業と
補聴器購入助成を



令和5年4月からアリオ八尾と市立病院を結ぶバス路線が減便され、午前の便が減り市民の利便性に課題がある。患者の送迎用マイクロバスやデマンドタクシーの運行などの対応は検討しているのか。

バス会社からは24便から8便への提案だったが、2便増やしていただき10便となっている。市民の利便性を向上させるため、費用対効果を見ながら研究していきたい。

補聴器購入助成制度について、過去の答弁では制度の必要性は認識しており、高齢者の健康施策全体の中で検討を行っているとのことだった。令和6年4月からの実施が必要と考えるが、現在の状況はどうか。

上限額の設定や対象者などにより予算額も変わってくる。継続して事業を行う必要がある条件等も含めて検討している。

その他の質問項目
●旧八尾図書館跡地活用事業について



大阪維新の会
いなもり ひろき
稲森 洋樹
人事給与制度の改革
現状の客観分析を



職員の期末勤勉手当の年功的役職加算について、現行制度のままでは昇格意欲をそぎ、過大な超過勤務の発生要因にもなることから、見直すべきという考えか。

議員お示しのとおりである。

一般ごみの収集に伴う指定体制導入による超過勤務削減について、令和4年度に導入予定であったが、まだ出ていない状況か。

計画どおりには進捗していない。

直営ごみ収集の乗車体制見直しについて、市が報告書に掲げる目標が達成出来ないという状態にならないよう、取り組みを進めるべきと考えるがどうか。

場合によっては2人乗車での収集が可能な部分があるのではないかと課題認識している。

可能なところは2人乗車でやっていくという考えを進めていきたい。

その他の質問項目
●コミュニティ通貨について



公明党
みなかた たけし
南方 武
フェーズフリーで
災害に備えよ



消防本部新庁舎の建設計画が進められているが、この機会にフェーズフリーの機能を盛り込むべきではないか。

機能的な防災拠点となるように、フェーズフリーの導入について調査・研究していく。

一定規模の災害備蓄倉庫が必要ではないか。

市全体の備蓄倉庫については、今後、関係部局と協議を図りながら、機能的かつ強靱な防災拠点となるよう研究していく。

市民や民間企業と協力し、フェーズフリーの取り組みを進めるとともに、市の災害備蓄品や給食の残渣の活用を含めた食品ロス対策を行うべきと考えるがどうか。

公民連携の中でフードドライブの仕組みづくりができるよう、食品ロス対策について議論・整理していきたい。

その他の質問項目
●生物多様性について

▶ QRコードから、各議員の質問の映像を見ることができます。

個人質問



新声
やまなか ひろし
山中 宏
修学旅行での
伊勢神宮参詣は



令和4、5年度と修学旅行での伊勢神宮参詣を行っていないとのことだが、他の神社等への参詣の実績は。

令和4年度に広島方面へ3校が修学旅行に行き、いずれも宮島へ渡り厳島神社へ行っている。

日本の伝統文化をしっかりと見守るため、伊勢神宮参詣の再開に向けた具体的な行動が必要ではないか。

伊勢神宮などの参詣を禁止するような国の通知はないことなどを、校長会等で伝えていくことは可能と考える。

公営住宅の在り方について、少子高齢化が進む中、建て替えなど単にハードの更新・供給だけをするのではなく、多様化するニーズや課題に対応していくべきではないか。

借上公営住宅など、民間活用等を含めて、時代に応じた整備方法を検討していく必要がある。

その他の質問項目
●行財政改革について



日本共産党
たにさわ ちかこ
谷沢 千賀子
お出かけ応援事業と
補聴器購入助成を



令和5年4月からアリオ八尾と市立病院を結ぶバス路線が減便され、午前の便が減り市民の利便性に課題がある。患者の送迎用マイクロバスやデマンドタクシーの運行などの対応は検討しているのか。

バス会社からは24便から8便への提案だったが、2便増やしていただき10便となっている。市民の利便性を向上させるため、費用対効果を見ながら研究していきたい。

補聴器購入助成制度について、過去の答弁では制度の必要性は認識しており、高齢者の健康施策全体の中で検討を行っているとのことだった。令和6年4月からの実施が必要と考えるが、現在の状況はどうか。

上限額の設定や対象者などにより予算額も変わってくる。継続して事業を行う必要がある条件等も含めて検討している。

その他の質問項目
●旧八尾図書館跡地活用事業について



大阪維新の会
いなもり ひろき
稲森 洋樹
人事給与制度の改革
現状の客観分析を



職員の期末勤勉手当の年功的役職加算について、現行制度のままでは昇格意欲をそぎ、過大な超過勤務の発生要因にもなることから、見直すべきという考えか。

議員お示しのとおりである。

一般ごみの収集に伴う指定体制導入による超過勤務削減について、令和4年度に導入予定であったが、まだ出ていない状況か。

計画どおりには進捗していない。

直営ごみ収集の乗車体制見直しについて、市が報告書に掲げる目標が達成出来ないという状態にならないよう、取り組みを進めるべきと考えるがどうか。

場合によっては2人乗車での収集が可能な部分があるのではないかと課題認識している。

可能なところは2人乗車でやっていくという考えを進めていきたい。

その他の質問項目
●コミュニティ通貨について

▶ QRコードから、各議員の質問の映像を見ることができます。

個人質問



新声
やまなか ひろし
山中 宏
修学旅行での
伊勢神宮参詣は



令和4、5年度と修学旅行での伊勢神宮参詣を行っていないとのことだが、他の神社等への参詣の実績は。

令和4年度に広島方面へ3校が修学旅行に行き、いずれも宮島へ渡り厳島神社へ行っている。

日本の伝統文化をしっかりと見守るため、伊勢神宮参詣の再開に向けた具体的な行動が必要ではないか。

伊勢神宮などの参詣を禁止するような国の通知はないことなどを、校長会等で伝えていくことは可能と考える。

公営住宅の在り方について、少子高齢化が進む中、建て替えなど単にハードの更新・供給だけをするのではなく、多様化するニーズや課題に対応していくべきではないか。

借上公営住宅など、民間活用等を含めて、時代に応じた整備方法を検討していく必要がある。

その他の質問項目
●行財政改革について



日本共産党
たにさわ ちかこ
谷沢 千賀子
お出かけ応援事業と
補聴器購入助成を



令和5年4月からアリオ八尾と市立病院を結ぶバス路線が減便され、午前の便が減り市民の利便性に課題がある。患者の送迎用マイクロバスやデマンドタクシーの運行などの対応は検討しているのか。

バス会社からは24便から8便への提案だったが、2便増やしていただき10便となっている。市民の利便性を向上させるため、費用対効果を見ながら研究していきたい。

補聴器購入助成制度について、過去の答弁では制度の必要性は認識しており、高齢者の健康施策全体の中で検討を行っているとのことだった。令和6年4月からの実施が必要と考えるが、現在の状況はどうか。

上限額の設定や対象者などにより予算額も変わってくる。継続して事業を行う必要がある条件等も含めて検討している。

その他の質問項目
●旧八尾図書館跡地活用事業について



大阪維新の会
いなもり ひろき
稲森 洋樹
人事給与制度の改革
現状の客観分析を



職員の期末勤勉手当の年功的役職加算について、現行制度のままでは昇格意欲をそぎ、過大な超過勤務の発生要因にもなることから、見直すべきという考えか。

議員お示しのとおりである。

一般ごみの収集に伴う指定体制導入による超過勤務削減について、令和4年度に導入予定であったが、まだ出ていない状況か。

計画どおりには進捗していない。

直営ごみ収集の乗車体制見直しについて、市が報告書に掲げる目標が達成出来ないという状態にならないよう、取り組みを進めるべきと考えるがどうか。

場合によっては2人乗車での収集が可能な部分があるのではないかと課題認識している。

可能なところは2人乗車でやっていくという考えを進めていきたい。

その他の質問項目
●コミュニティ通貨について

▶ QRコードから、各議員の質問の映像を見ることができます。

個人質問



新声
やまなか ひろし
山中 宏
修学旅行での
伊勢神宮参詣は



令和4、5年度と修学旅行での伊勢神宮参詣を行っていないとのことだが、他の神社等への参詣の実績は。

令和4年度に広島方面へ3校が修学旅行に行き、いずれも宮島へ渡り厳島神社へ行っている。

日本の伝統文化をしっかりと見守るため、伊勢神宮参詣の再開に向けた具体的な行動が必要ではないか。

伊勢神宮などの参詣を禁止するような国の通知はないことなどを、校長会等で伝えていくことは可能と考える。

公営住宅の在り方について、少子高齢化が進む中、建て替えなど単にハードの更新・供給だけをするのではなく、多様化するニーズや課題に対応していくべきではないか。

借上公営住宅など、民間活用等を含めて、時代に応じた整備方法を検討していく必要がある。

その他の質問項目
●行財政改革について



日本共産党
たにさわ ちかこ
谷沢 千賀子
お出かけ応援事業と
補聴器購入助成を



令和5年4月からアリオ八尾と市立病院を結ぶバス路線が減便され、午前の便が減り市民の利便性に課題がある。患者の送迎用マイクロバスやデマンドタクシーの運行などの対応は検討しているのか。

バス会社からは24便から8便への提案だったが、2便増やしていただき10便となっている。市民の利便性を向上させるため、費用対効果を見ながら研究していきたい。

補聴器購入助成制度について、過去の答弁では制度の必要性は認識しており、高齢者の健康施策全体の中で検討を行っているとのことだった。令和6年4月からの実施が必要と考えるが、現在の状況はどうか。

上限額の設定や対象者などにより予算額も変わってくる。継続して事業を行う必要がある条件等も含めて検討している。

その他の質問項目
●旧八尾図書館跡地活用事業について



大阪維新の会
いなもり ひろき
稲森 洋樹
人事給与制度の改革
現状の客観分析を



職員の期末勤勉手当の年功的役職加算について、現行制度のままでは昇格意欲をそぎ、過大な超過勤務の発生要因にもなることから、見直すべきという考えか。

議員お示しのとおりである。

一般ごみの収集に伴う指定体制導入による超過勤務削減について、令和4年度に導入予定であったが、まだ出ていない状況か。

計画どおりには進捗していない。

直営ごみ収集の乗車体制見直しについて、市が報告書に掲げる目標が達成出来ないという状態にならないよう、取り組みを進めるべきと考えるがどうか。

場合によっては2人乗車での収集が可能な部分があるのではないかと課題認識している。

可能なところは2人乗車でやっていくという考えを進めていきたい。

その他の質問項目
●コミュニティ通貨について